

まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は平成29年度当初予算と平成28年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

最近の本県経済は、鉱工業生産指数や有効求人倍率が全国トップクラスの水準で推移しており、新幹線開業効果も相俟って、順調に景気回復が続いております。

また、本県の財政状況は、これまで職員数の削減をはじめとする行財政改革に取り組んできた結果、平成24年度から基金の取り崩しに頼らない財政運営を行っており、5年連続で収支均衡を達成することができました。一方で、今後、社会保障関係経費の増加に加え、北陸新幹線の富山県境・金沢間分の県債の償還、さらには、

金沢・敦賀間の整備の本格化に伴う負担の増加が見込まれることから、引き続き、持続可能な財政基盤の確立に向け、中長期的な展望に立った財政運営に取り組んでいかなければなりません。

こうした状況の中、平成29年度当初予算については、昨年3月に策定した新たな長期構想に掲げた基本目標である「個性、交流、安心のふるさとづくり」の実現に向けて、初年度である平成28年度の成果も踏まえ、取り組みを加速させていくことといたしました。

具体的には、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックや平成34年度の北陸新幹線敦賀開業も見据えて、石川県を更に一段上のステージに飛躍・発展させていくため、質の高い文化をはじめとした石川の個性に更なる磨きをかけることや、様々な面に効果が波及している新幹線を多面的に活用して、人やものの交流を更に盛んにすること、加えて、本年はナホトカ号重油流出事故から20年、能登半島地震から10年という節目の年であることから、改めて、県民の安全・安心の更なる確保を図ることの3点に特に重点を置いて編成しました。

そして、こうした重点課題に積極的に取り組むとともに、持続可能な財政基盤の確立に向けて、平成27年度より取り組みを開始した行政経営プログラムに基づき、歳入歳出全般にわたる各種の改革を間断なく進めてまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます次第です。

平成29年6月1日

石川県知事 谷 本 正 憲

も く じ

第1 平成29年度当初予算の概要	2
Ⅰ 予算はどのような考えで編成したのですか。.....	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。.....	3
Ⅲ 予算額はいくらですか。.....	6
Ⅳ 必要とするお金はどうやって賄うのですか。.....	8
Ⅴ 予算はどのような目的に使われるのですか。.....	10
第2 石川県の財政状況	14
Ⅰ 石川県の財政状況はどうですか。.....	14
Ⅱ 今後の財政見通しはどうなりますか。.....	24
第3 平成28年度下半期の補正予算と決算見込みの概要	26
Ⅰ 平成28年度下半期に編成された補正予算の主な内容は何ですか。.....	26
Ⅱ 平成28年度予算の執行状況はどうですか。.....	30
Ⅲ 平成28年度の決算見込みはどうですか。.....	31
第4 平成29年度当初予算を家計簿に例えると	32
資料編	35